月刊 あなたにこの本を！ 平成24年5月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

海の向こうに本を届ける －著作権輸出への道－

栗田明子　著
晶文社　2520 円　(0012399863)

ジャンル ： 知識・教養を深める

日本の出版物を翻訳し海外で販売することが珍しかった 1970 年代から、著者はパイオニアとして出版物の輸出を手がけてきた。最初の成約は、小松左京『日本沈没』だった。その後、北杜夫『楡(にれ)家の人びと』を各国で出版し、国際児童図書展では安野光雅らの絵本に評価を得た。翻訳権や印税などの交渉を体当たりで行いながら 40 年仕事を続け、累計契約数は 1 万 3000 作品というから感嘆する。出版史としても、夢を実現した女性の伝記としても、興味をひかれる。〔021.2〕

通天閣 －新・日本資本主義発達史－

酒井隆史　著
青土社　3780 円　(0012408739)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

100 年前、新世界と通天閣が開業した。それから現在に至るまでを、隣接する飛田、釜ヶ崎の様子とからめて描く。この地と阪田三吉、織田作之助らとの関わりを記すだけでなく、福祉施設を営む侠客(きょうかく)や、借家人運動を支援する無政府主義者など、知られざる人々の活躍にも触れる。資本主義の発達とともに発展を遂げた梅田などの中心市街とは異質のこの地からは、近代大阪の裏面史が透けて見える。急速に姿を変える地域の貴重な記録でもある。〔216.3〕

いいねぇ～江戸売り声 -絵で見る商いの原風景－

宮田章司　著　瀬知エリカ　画
素朴社　1575 円　(0012417041)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

「なっと、なっとぉー、なっと」朝に響く納豆売りの声。江戸時代には多くの物売りが朝から晩まで町を流して歩き、様々な声があふれていた。本書は、江戸売り声を舞台芸にした漫談家の著者が売り声 120 種を紹介し、解説する。灰買いや屑(くず)買いなどの不要品買取りも存在したエコな暮らしぶりや、夏の冷水、秋の虫売りなど季節の情趣が、添えられた挿絵からもうかがえる。商いの原点である知恵がつまった売り声を想像するだけでも楽しめる。〔384.3〕

「本屋」は死なない

石橋毅史　著
新潮社　1785 円　(0012393874)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

出版業界誌の元編集者である著者が、各地で頑張る「本屋」を訪ねた。雑司ヶ谷でわずか5坪の店を始めた女性や、和歌山の過疎の村で店を守る主人など、著者は現地で丹念に話を聞き取り、その思いをレポートする。出版不況が続き、電子書籍やネット書店が台頭する中、年間 1000 軒もの書店が閉店している。それでも「意思ある」棚づくりにこだわり、一人一人に本を手渡そうと奮闘する本屋たちを応援し、共に未来を模索しようとする著者の熱意が伝わってくる。〔023〕

日本人の価値観　－世界ランキング調査から読み解く－

鈴木賢志　著
中央公論新社　1785 円　(0012429731)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

日本人は、自他の位置づけに強いこだわりを持つとよく言われる。本書では、国際世論調査のデータをもとに、政治、仕事、家庭、人生観など様々に項目を立て、世界の国々の中で順位付けすることで、日本人の価値観を明らかにしていく。政府に対する信頼感は低いがテレビへの信頼感は高い、安全志向だがギャンブル好きなど、意外な一面も見えてくる。著者により解説がつけられているが、掲載されたランキングを自分でも読み解いてみたい。〔361.62〕

養子でわくわく家族　－A Story of Blessed Adoption－

中村芳子　著
小学館　777 円 (0012446436)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

夫と小学生の娘を持つ著者が、2歳の女の子を養子に迎えた。里親制度に登録してから養子縁組が成立するまでの手続きと、その後の生活を実体験にそって詳しく紹介する。喜んだり悩んだり、実子も養子も関係なく家族みんながぶつかりあいながら絆を深めていく。完璧な母親とは言えない著者が本音で語るその体験談は、家族が増えることの素晴らしさを伝える。日本では、血縁関係を重んじるが、血のつながり以上の家族の温かさをこの本で知ることができる。〔369.43〕

あなたは誰？私はここにいる

姜　尚中　著
集英社　777 円　(0012367985)

ジャンル ： 知識･教養を深める

著者は青年時代、デューラーの自画像に出会い、「わたしはここにいる、おまえはどこに立っているのだ」と語りかけられ、身震いするような感動を覚えたという。本書では、自身が感動した絵画や彫刻などについて、個人的な思い出とともに、作品の背景や見どころを独自の切り口で紹介する。芸術作品に感動することが生きる力になり、いま多くの人が抱える不安を切り開く力となるという著者の言葉に、思わずうなずかされる。数々の名品を改めて味わいたい。〔704〕

世界記録はどこまで伸びるのか

ジョン・ブレンカス　著　矢羽野　薫　訳
河出書房新社　1890 円　(0012411102)

ジャンル ： 知識･教養を深める

米国スポーツ専門チャンネルの司会を勤めた著者が、マラソン、重量挙げなど9つの項目について、人類が決して超えられない極限点を予想した。100m走では、スタート合図への反応時間に始まり、追い風、筋肉の質量など、最高記録を導き出すための理想的条件が示されている。新型水着による混乱などウェアの問題、薬物使用鑑定などについてもふれており、スポーツ記録を多角的に考えさせられる。人間の身体能力の限界への興味をかきたてられる。〔780.18〕